

# 北薩感染症情報

2019年第52週(12月23日～12月29日)

【問い合わせ先】 〒895-0041 薩摩川内市隈之城町228番地1  
 北薩地域振興局保健福祉環境部(川薩保健所)健康企画課  
 電話 0996-23-3165 FAX 0996-20-2127  
 E-メール [kita-kenkou-shippei@pref.kagoshima.lg.jp](mailto:kita-kenkou-shippei@pref.kagoshima.lg.jp)

## 川薩・出水保健所における定点報告疾患

◎:警報発令中 ○:注意報発令中

定点種別	対象疾患	警報レベル			川薩保健所管内					出水保健所管内				
		開始基準値	終息基準値	注意報レベル基準値	前週報告数(人)	今週報告数(人)	定点報告数	前週からの増減	警報注意報	前週報告数(人)	今週報告数(人)	定点報告数	前週からの増減	警報注意報
内科・小児科定点	インフルエンザ	30.0	10.0	10.0	136	205	29.29	↗	○	136	158	31.60	↗	◎
小児科定点	RS	-	-	-	1	1	0.25	→	-	-	1	0.33	↗	-
	咽頭結膜熱	3.0	1.0	-	7	4	1.00	↓	-	10	10	3.33	→	◎
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8.0	4.0	-	25	23	5.75	↓	◎	14	12	4.00	↓	-
	感染性胃腸炎	20.0	12.0	-	9	37	9.25	↗	-	3	7	2.33	↗	-
	水痘	2.0	1.0	1.0	-	-	-	→	-	2	1	0.33	↓	-
	手足口病	5.0	2.0	-	2	-	-	↓	-	-	-	-	→	-
	伝染性紅斑	2.0	1.0	-	3	5	1.25	↗	-	-	2	0.67	↗	-
	突発性発疹	-	-	-	2	3	0.75	↗	-	2	-	-	↓	-
	ヘルパンギーナ	6.0	2.0	-	1	1	0.25	→	-	-	-	-	→	-
	流行性耳下腺炎	6.0	2.0	3.0	-	-	-	→	-	-	-	-	→	-
眼科定点	急性出血性結膜炎	1.0	0.1	-	-	-	-	→	-	/	/	/	/	/
	流行性角結膜炎	8.0	4.0	-	2	6	6.00	↗	-	/	/	/	/	/
基幹定点	細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	→	-	-	-	-	→	-
	無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	→	-	-	-	-	→	-
	マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	→	-	3	-	-	↓	-
	クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	→	-	-	-	-	→	-
	感染性胃腸炎 病原体がロタウイルスに属する	-	-	-	-	-	-	→	-	-	-	-	→	-
インフルエンザ 入院報告	-	-	-	1	1	/	→	-	5	4	/	↓	-	
報告数合計		-	-	-	189	286	/	↗	/	175	195	/	↗	/

<注意報・警報>  
 ・川薩保健所管内 「A群溶血性レンサ球菌咽頭炎流行発生警報」,「インフルエンザ 流行発生注意報」いずれも3週連続継続中。  
 ・出水保健所管内 「インフルエンザ 流行発生警報」発令,「咽頭結膜熱 流行発生警報」4週連続継続中。

<全数報告>  
 ・川薩保健所管内 結核(無症状病原体保有者1人)  
 ・出水保健所管内 なし

<インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等>  
 ・川薩保健所管内 なし  
 ・出水保健所管内 学級閉鎖(保育園1)

### ○ 第52週のトピックス

出水保健所管内にインフルエンザ流行発生警報を発令しました。



# (警報)

## ○咽頭結膜熱について

【警報開始基準値 3.0 警報終息基準値 1.0】

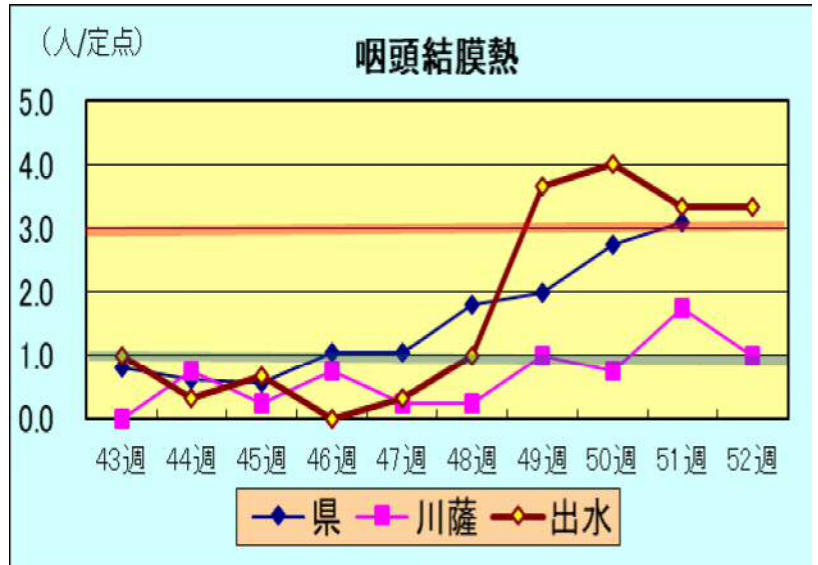
第52週の咽頭結膜熱の発生状況は、川薩保健所管内からは、4名(定点当たり報告数 1.00)の報告がありました。

出水保健所管内からは、51週と同様**10名**(定点当たり報告数 3.33)の報告がありました。

4週連続で流行発生警報継続中です。



(第52週は川薩・出水のみ掲載)



## ○A群溶血性レンサ球菌咽頭炎について

【警報開始基準値 8.0 警報終息基準値 4.0】

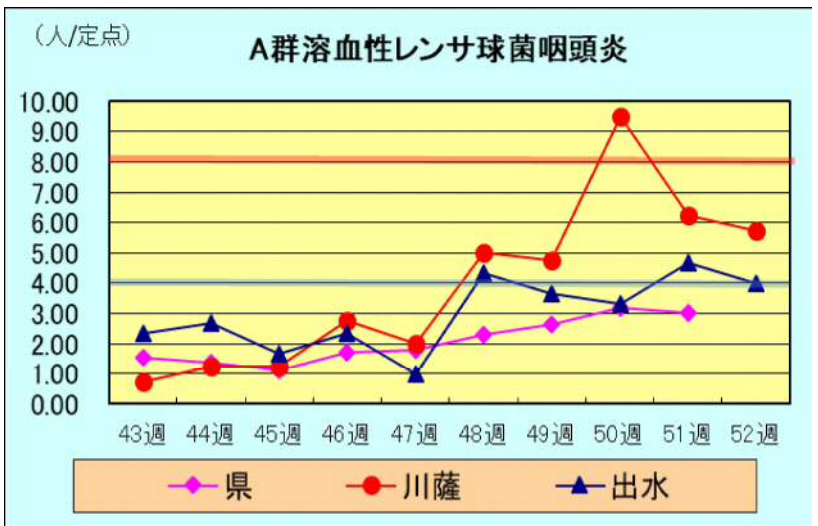
第52週のA群溶血性レンサ球菌咽頭炎の発生状況は、川薩保健所管内からは、**23名**(定点当たり報告数 5.75)の報告がありました。

3週連続で流行発生警報継続中です。

出水保健所管内からは、12名(定点当たり報告数 4.00)の報告がありました。



(第52週は川薩・出水のみ掲載)



(注意) 出水保健所管内にインフルエンザ流行発生警報を発令しました。

## インフルエンザ

【警報開始基準値 30.0】 【注意報開始基準値 10.0】 警報終息基準値 10.0】

第52週のインフルエンザの発生状況は、川薩保健所管内からは、**205名**(定点当たり報告数 **29.29**)の報告がありました。

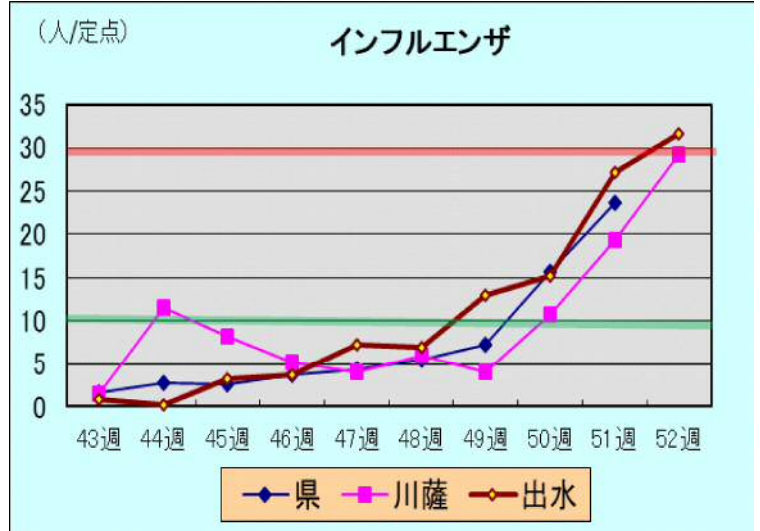
51週よりも69人報告が増えています。  
3週連続で流行発生注意報継続中です。

出水保健所管内からは**158名**(定点当たり報告数 **31.60**)の報告がありました。

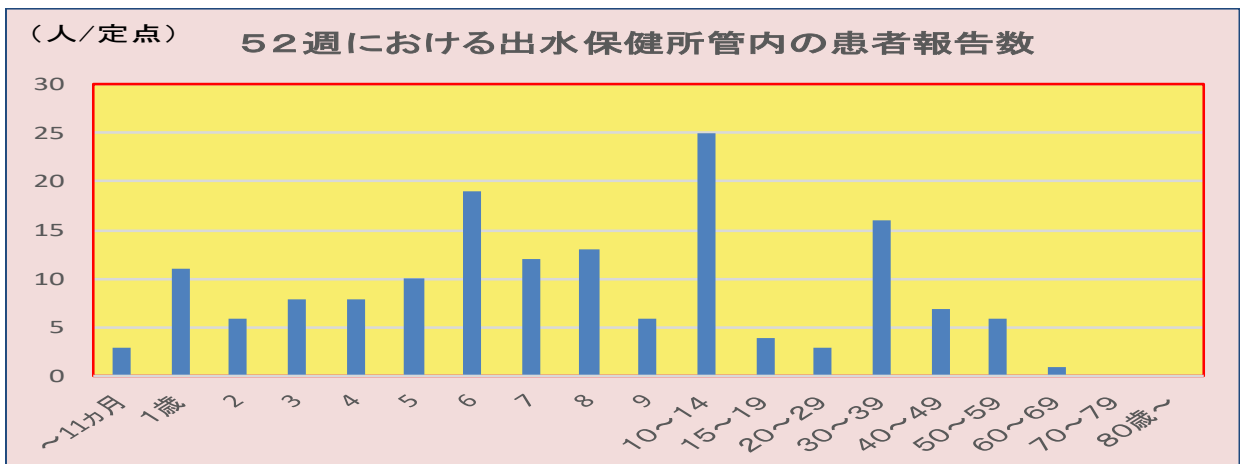
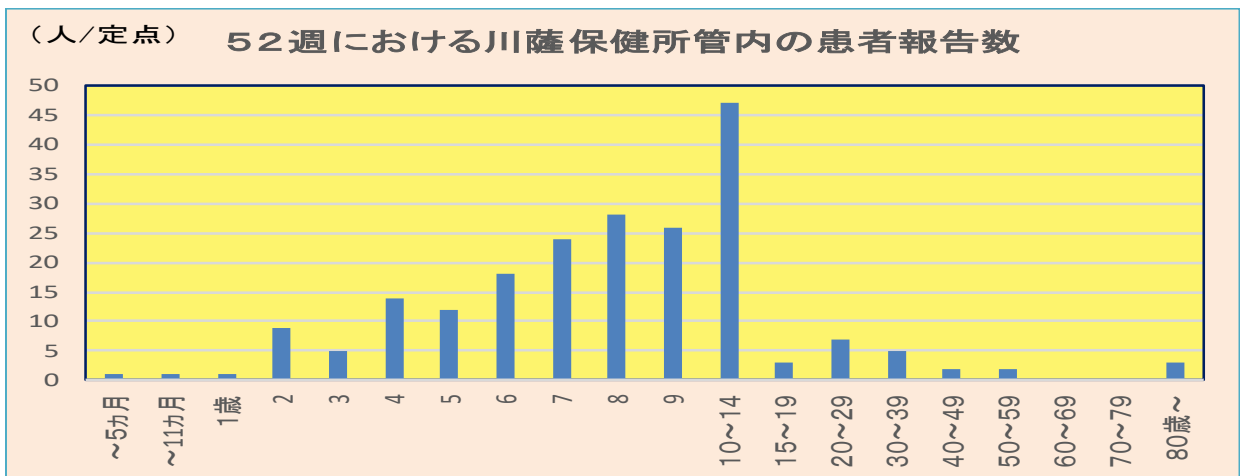
51週よりも22人報告が増えています。  
「流行発生警報基準値」を超えました。

下記の内容を参考に予防に努めてください。

(第52週は川薩・出水のみ掲載)



### ● 川薩・出水各保健所の第52週における患者報告数



# インフルエンザの流行期真っ只中の対応について

## 1 インフルエンザの予防のために

### ① 外出後の手洗い等

流水・石けんによりウイルスを物理的に除去。アルコール製剤による手指消毒も効果的

### ② 適度な湿度の保持

空気が乾燥すると気道粘膜の防御機能が低下。加湿器を使って50～60%を保持

### ③ 十分な休養とバランスのとれた栄養摂取

体の抵抗力を高めるために、十分な休養とバランスのとれた栄養摂取を日頃から心がける

### ④ 人混みや繁華街への外出を控える

インフルエンザが流行してきたら、特に高齢者や基礎疾患のある方、妊婦、体調の悪い方、睡眠不足の方は人混みや繁華街への外出は控えるやむを得ず外出して人混みに入る可能性がある場合には不織布製マスクを着用する



## 2 インフルエンザにかかってしまったら

～ まずは安静にし、休養をとりましょう ～

### ① 咳エチケットを守りましょう

インフルエンザの主な感染経路は咳やくしゃみの際に口から発生される小さな水滴（飛沫）です。

感染者であっても、全く症状のない（不顕性感染）例や、感冒様症状のみでインフルエンザに感染していることを本人も気づかない軽症例も少なくありません。

したがって、周囲の人にうつさないよう、次のことなどを守るよう心がけてください。

- ・咳やくしゃみを他の人に向けて発しないこと
- ・不織布製マスクをすること。マスクがない場合は、ティッシュや腕の内側などで口と鼻を覆い、顔を他人に向けないこと
- ・鼻汁・痰などを含んだティッシュはすぐにゴミ袋に捨て、手のひらで咳やくしゃみを受け止めた時はすぐに手を洗うこと

### ② 症状がなくなっても、人にうつす恐れあり

インフルエンザ発症前日から発症後3～7日間は、鼻やのどからウイルスを排出すると言われてます。無理をして学校や職場などに行かないようにしましょう。

現在、学校保健安全法では、「発症した後5日を経過し、かつ、解熱した後2日（幼児にあっては、3日）を経過するまで」をインフルエンザによる出席停止期間としています。

